

卒業おめでとうございます

～興讓館の卒業生として、自信と誇りを胸に。いざ新天地へ！～



Yonezawa Kojokan High School

令和5年3月23日発行

第55号 山形県立
米沢興讓館高等学校

〒992-1443
山形県米沢市大字笹野1101
TEL 0238-38-4741
FAX 0238-38-2531
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

＊門出の言葉

卒業生代表

齋藤 映斗 (白鷹中出身)



光陰矢の如し。高校での三年間は、光の矢のような速さで過ぎ去り、期待に胸を膨らませながらこの高校に入学して早三年の年月が立ち去っています。喜び、悲しみ、仲間たちと共にかけがえのない沢山の経験をすることができました。

本日は、私たち卒業生のために、このような盛大な卒業式を挙げていただきまして、ありがとうございます。校長先生をはじめ、ご来賓、在校生の皆さんから温かいお祝いの言葉をいただき、大変うれしく、卒業生一同を代表して心より感謝申し上げます。

振り返ると、私たちはコロナウイルスによる影響を三年間受け続け、思うようにいかないことがたくさんありました。本来の日程よりも遅れて実施した入学式。マスクの着用義務、黙食など、日常生活においてはコミュニケーションをするうえでの障害がありました。自由が制限されているように感じていたことも少なくありません。特に、研修旅行が本来の目的地に行くことができなかったことは、大変心残りな出来事でありました。

しかし、日常生活を送る中では、コロナの影響など感じさせず、直接顔が見られなくても、交友関係を広げられるような明るく社交性に溢れた友人に恵まれました。

そして今年度に入り、各行事をコロナ禍前に近づけた形式で実施することができ、クラスの一体感をより強く感じることができました。体育祭、興讓祭でのクラス活動をほじくめ、合唱コンクール、マラソン大会といった興讓館ならではの行事を一回でも体験できたことは、興讓館の一員である意識を深める経験となりました。また、研究活動では大学の先生方や本校の先生方の御指導のもと、専門的な内容に長い時間をかけて取り組むことができ、他の学校ではなかなか得られないような経験であり、大学への足がかりとなるような有意義な活動だった、と心から思っております。

私たちに生きてきてくれた在校生の皆さん。皆さんの姿を見て、先輩になったのだという実感と、皆さんを引っ張っていかなければならぬという責任を感じました。先輩としての理想的な姿は多くは見せられなかったかもしれませんが、少しでもこれからの米沢興讓館を背負っていく皆さんと一緒に生活できたこと、本当にうれしく思います。

先生方、今まで私たちを導いてくださり本当にありがとうございました。クラス、授業、部活動、委員会活動だけでなく多くの場面で、未熟な私たちの話に真剣に耳を傾け相談に乗ってください。時には叱咤し激励していただき大変お世話になりました。コロナ禍前の行事を経験できるように尽力していただいたことは、自治会長としても生徒としても言葉にできないほど感謝の念でいっぱいです。先生方の教えは高校生活だけでなく、これから的人生においても生かしてまいりたいと思います。

そして、お父さんお母さん、今まで育ててくれて本当にありがとうございました。三年間、遠い白鷹の土地からも通い続けることができたのは紛れもなく二人のお陰です。毎日、朝早くから弁当を作り、駅まで送ってくれたり、休みの日も模試や部活があれば会場へと送ってくれたり、変則的な帰りの時間に合わせて迎えに来てくれたり、日々の会話の中でも相談や雑談に乗ってくれたり、難しい挑戦をしよつとしたときは背中を強く押してくれたり。何事でも私のためを思ってくれる、本当に素晴らしい両親で、私はとても幸せ者でした。これからは一人のものを離れ、新たな場所へ邁進していくことになりそうです。寂しい思いはあれど、二人から受けた恩は一生忘れずに、新天地でも活躍できるように努力し続けていきます。

最後に、長い時間を共にすごした三年生のみなさんへ。同じ目標に向かって切磋琢磨する同志として、私にとってはかけがえのない存在です。入学したとき、知り合いがおらず孤独に感じたものですが、今では多くの仲間を得ました。私が、充実した三年間を過ごし、今、卒業生の代表として前に立つことができているのは、まさりもなく皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。今日、私たちはそれぞれの新たな舞台へと旅立つわけですが、新たな学びを得て皆さんと再会したいものです。

名残惜しくも旅立ちの時間がやってきました。本日は臨席いただき、ありがとうございました。皆様方のご多幸を心よりお祈り申し上げ、門出の言葉といたします。

＊はなむけの言葉

在校生代表

舟腰倫太郎 (赤湯中出身)



冬の寒さも和らぎ、日差しの中に春の息吹が感じられる今日の佳き日に米沢興讓館高等学校を卒業される皆様、誠におめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

一年前の春。これから始まる新たな生活に希望と不安を持って入学した私の目には、先輩方の背中がとて大きく頼もしく映りました。気合を入れて臨んだ応援練習では、幹事の方の見事な演技に魅了され、興讓館生としての気概を抱くことができました。また、部活や日常生活での先輩方はとても優しく、生活するうえでの様々な心得を一から教えていただきました。

学校行事や自治会活動においては、コロナ禍前の興讓館を知っている年代がない中で、受け継がれてきた伝統を繋ぎながら、自分たちにはできないものを創り上げるために先輩方は私たちを導いてくださいました。

学校生活において、私たち二年生が中心となってきた先輩方の偉大さを改めて実感しました。私がミスをすると、一年の経験がこんなにも差を生んでしまうものなのかと驚きを隠せませんでした。

常に私たちの前を歩き、興讓館生とは何かを示してくださった皆さんが卒業されました。心細く不安で仕方ありません。しかしながら皆さんが繋いでくださった伝統を途絶えさせないために、前に進んでいかなければいけません。今度は私たちがこの米沢興讓館をよき学び舎へと築き上げていきたいと思います。

これまで本当にありがとうございました。大変名残惜しい思いは尽きませんが、皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げ、はなむけの言葉とさせていただきます。

「はなむけの言葉」より一部抜粋



一・二年生研修旅行

一年生 東京研修



二年生 関西研修



令和4年度 校内探究活動発表会

科学研究型領域の審査結果

最優秀賞

- ・ペロブスカイト太陽電池の耐久性向上を目指す
- ・ウコギ葉 (*Coarctohopanax sieblanum*) のグラム陰性菌への抗菌効果の活用

優秀賞

- ・自作サーマルサイクラーの開発〜PCR法を安価で手軽に〜
- ・新素材セルロースナノファイバーの乾燥と復元に関わる方法の開発
- ・サボニウス型風車の発電量増大に向けて

優良賞

- ・雪での効率の良い発電とは？
- ・山形県南陽市白竜湖におけるコイ (*Cyprinus carpio*) の交雑状況調査
- ・圧力発電の角度による発電量の違い
- ・米沢市におけるキタノメダカ (*Oryzias latipes*) とミナミメダカ (*Oryzias latipes*) の生息域調査〜日本の野生メダカの今を知る〜
- ・即身仏にみる置賜の出羽三山信仰
- ・シャープペンってどうしたら折れるの？
- ・21世紀最大の戦争〜国際社会の罪〜
- ・組織培養で遠山かぶ (*Brassica rapa Rapa Group*) の未来を救おう！

※科学研究型領域の優良賞のうち上位四班が五月に口頭発表を行います。

プロジェクト型領域の審査結果

最優秀賞

- ・ Okitama Gender Innovation ~from young generation~

優秀賞

- ・ベにっと一息！小野川温泉×紅花プロジェクト

優良賞

- ・mi-tree and egg tree〜食物アレルギーのマイノリティのために〜
- ・紅花でつなぐ国際交流〜外国人との交流イベントを通して〜
- ・米沢の魅力を外国人に発信しよう〜外国人向けのウェブサイトの作成〜

審査員長特別賞

- 二年二組 佐藤 楓華・二年三組 嵐田 冴子



スキー授業



冬、到来!

高鍋高校との交流

宮崎県立高鍋高等学校との
学校間交流会報告

二年二組 梅津早哉香(米沢四中出身)
一年一組 岩瀬 雄哉(赤湯中出身)

私たちは、十月十二日から十四日の三日間、宮崎県立高鍋高等学校において学校間交流を行いました。この高鍋高校との交流は二〇〇〇年から行われているものであり、訪問と来校を一年ごと交互に行っていました。しかし、コロナ禍の影響により直接の訪問が難しい状態が続き、今回の交流は四年ぶりとなりました。



高鍋高校に到着すると、何百人もの生徒・先生方が校長先生・英雄先生・生徒三人に対して、熱烈な歓迎をしてくださりました。全校歓迎式典で学校紹介、生徒会交流会で自己紹介をしました。記念品として五連けん玉を贈呈しました。交流会後、高鍋高校の一〇〇周年記念企画として、五連けん玉チャレンジを行ったようです。

十三日、上杉鷹山とつながりの深い秋月家の墓地において献花を行いました。資料館では、今まで知らなかった上杉藩と高鍋藩の共通点も見えて、有意義な時間となりました。その後、宮崎県の蚊口浜で人生初めてのサーフィンを行いました。宮崎県の海は十月にしては水温が高く、山形県と宮崎県の気候の差を実感しました。二日目の夜は近くの廃校となった小学校の土地をお借りして、BBQを行いました。高鍋高校の方々と親睦も深めながら楽しい時間を過ごすことができました。

閉会式では、交流会全体を通して振り返り、両校の関係をこれからも続けていくことを確認しました。



高鍋高校来校

令和四年十一月五日に宮崎県立高鍋高等学校第二学年の皆さんが修学旅行の道中に来校してくれました！三年生と先生方でお出迎えをし、短時間ではありましたが交流を持つことができました。



大学入試共通テスト激励会



山形県探究型学習課題研究発表会

高文連科学専門部の部・優秀賞

「雪国仕様フレキシブル熱電変換素子を指向した新規半導体高分子の開発」

高文連科学専門部の部・優秀賞

「植物の環境応答と生体電位にかかわる研究」



上記2つの研究は令和5年度全国高等学校総合文化祭自然科学部門に出場が決定しました!



一般の部・優良賞

「山形県南陽市白竜湖におけるコイ (Cyprinus carpio) の系統判別」



一般の部・優良賞

「Okitama Gender Innovation ~from young generation~」

第47回全国高等学校選抜

フェンシング大会 北海道・東北予選会

- 学校対抗 女子エペ 第一位
- 学校対抗 男子エペ 第二位
- 学校対抗 女子フルーレ 第三位

の快挙!



高文連科学専門部の部・優良賞
「錯体を用いた非天然アミノ酸のキラリ識別」

興譲館生のがんばり